

# 記入例

第7号様式（第14条関係）

1

## 防火対象物 使用 届 出 書 変 更

(あて先) 京都中部広域消防組合 亀岡 消 防 署 長	令和5年 4月 1日
届出者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）  京都府亀岡市荒塚町1丁目9番1号	届出者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）  株式会社消防 代表取締役 消防 太郎  電話 0771-22-9581

京都中部広域消防組合火災予防条例第47条 <input checked="" type="checkbox"/> 第1項の規定により、 <input type="checkbox"/> 第2項の規定により、 防火対象物の使用を開始 するので、届け出ます。 届け出た事項を変更	
防火対象物	所在地 京都府亀岡市篠町篠向谷5番地の1 電話 0771-23-0119
	名称 京都消防料理
	用途 消防法施行令別表第1(3)項 <input type="checkbox"/> 飲食店
	構造及び規模 木造 地上 2階 地下 階 建築面積 127.68 m <sup>2</sup> 延べ面積 161.60 m <sup>2</sup>
防火管理者の職及び氏名 店長 中部 花子	
公開時間又は従業時間 11時00分から22時00分まで	
全 従 業 者 数 5人	
他の法令による使用に関する許認可の有無及び内容 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
防火対象物の使用の開始の予定年月日（届け出た事項の変更にあつては、変更の予定年月日） 令和5年 4月 10日	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

備考

- 1 該当する□には、レ印を記入してください。
- 2 ※印の欄は、記入しないでください。

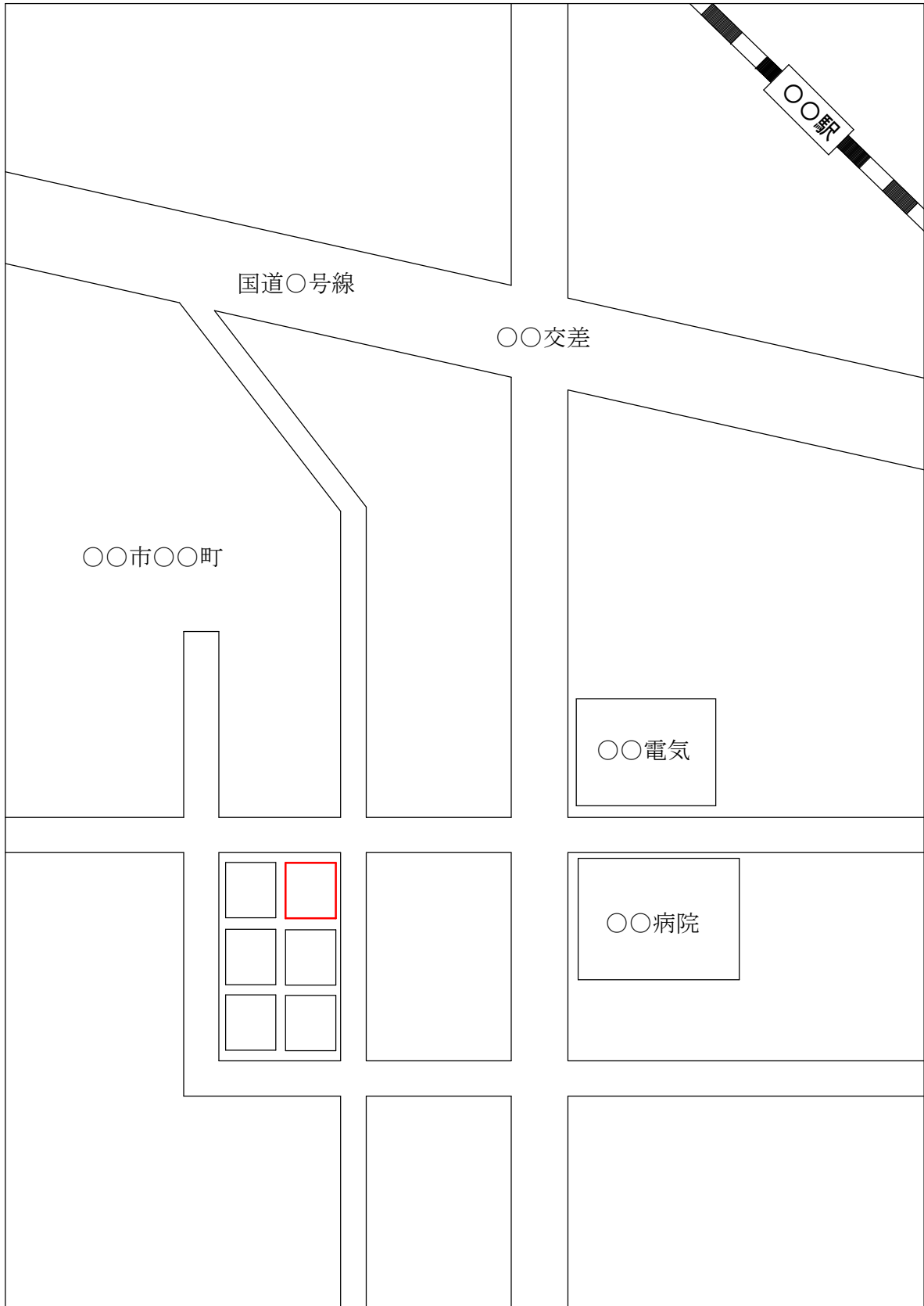
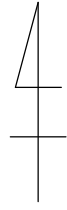
## 防火対象物棟別概要

棟の名称	京都消防料理		用途	消防法施行令別表第1(3)項口			
			工事着手年月日	令和4年 12月 1日			
			使用開始年月日	令和5年 4月 10日			
建物の構造	木造						
建築確認年月日	令和4年 7月 1日		建築確認番号	第100号			
※消防同意年月日	年 月 日		※消防同意番号	第 号			
床面積の合計	161.60 m <sup>2</sup>						
階名	1階	2階	階	階	階	階	
床面積	80.8 m <sup>2</sup>	80.8 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
収容人員	20人	20人	人	人	人	人	
危険物、指定可燃物 又は核燃料物質等の 品名、数量及び倍数							
消防用設備等の概要	消火設備	消火器	消火器				
	警報設備	非常警報設備(任意)	非常警報設備(任意)				
	避難設備	誘導灯	誘導灯 避難器具 (避難はしご) (任意)				
	消火活動上必要な施設						
特殊消防用設備等の概要							

## 備考

- 2以上の棟がある場合は、棟ごとに作成してください。
- ※印の欄は、記入しないでください。
- 収容人員の欄は、消防法施行規則第1条の規定により算定した人員を記入してください。
- 届出に係る防火対象物の付近見取図、配置図並びに消防用設備等の配置状況を記載した各階平面図及び立面図を添付してください。

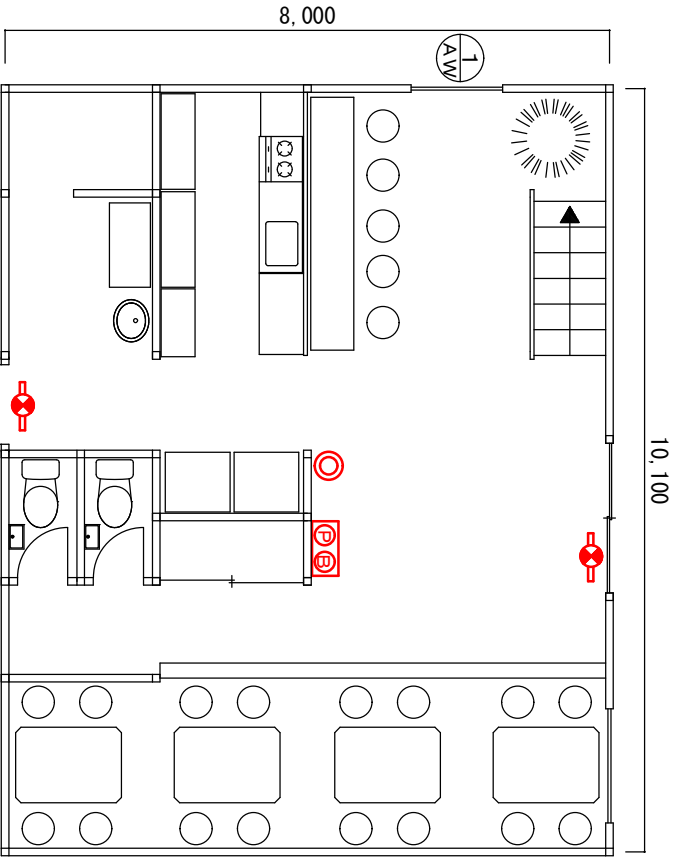
# 付近見取図



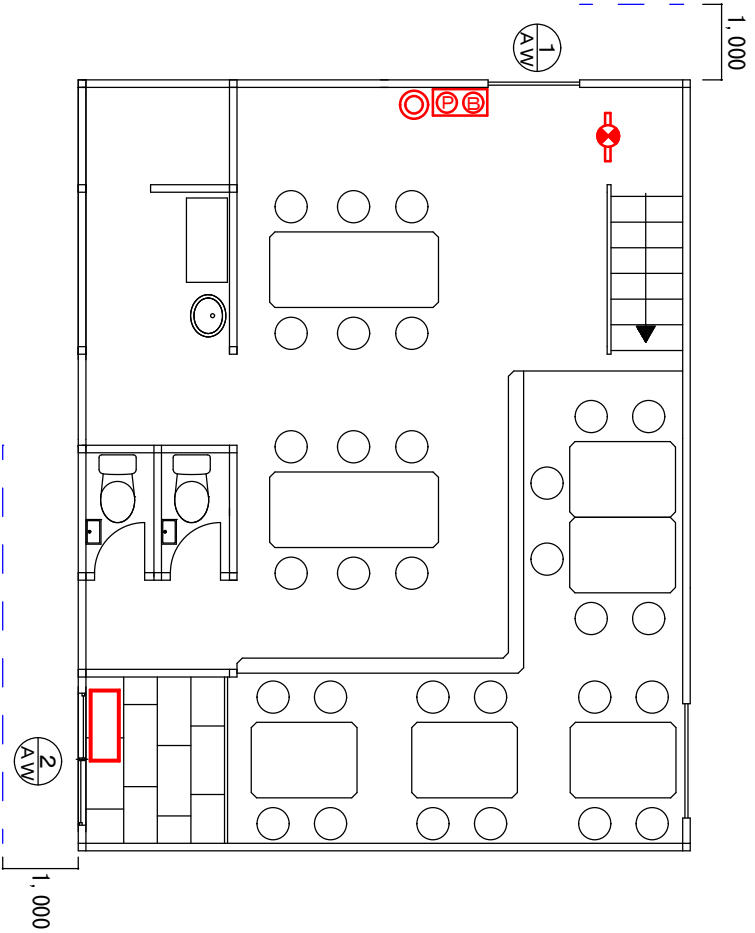
# 京都消防料理 平面图



1 F



2 F



- ...消火器
- ...非常警報設備
- ...誘導灯
- ...避難器具 (避難はしご)

無窓階の判定...各階普通階

1 F...AW1 1.4 × 1.2 = 1.68 (透明板ガラス5mm)

AD1 1.0 × 2.0 = 2.0 (透明板ガラス5mm)

80.8/30 = 2.7 ≤ 3.68

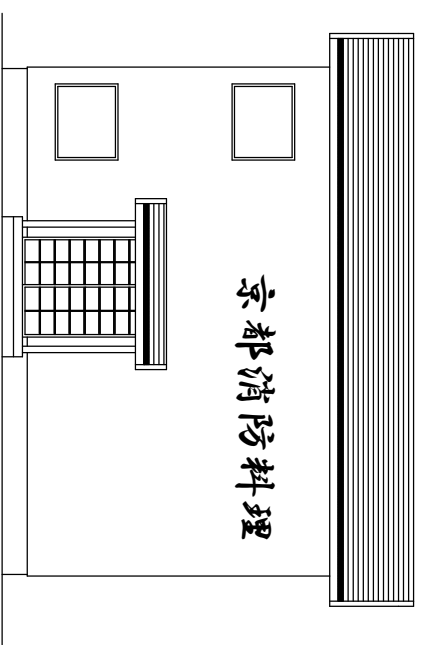
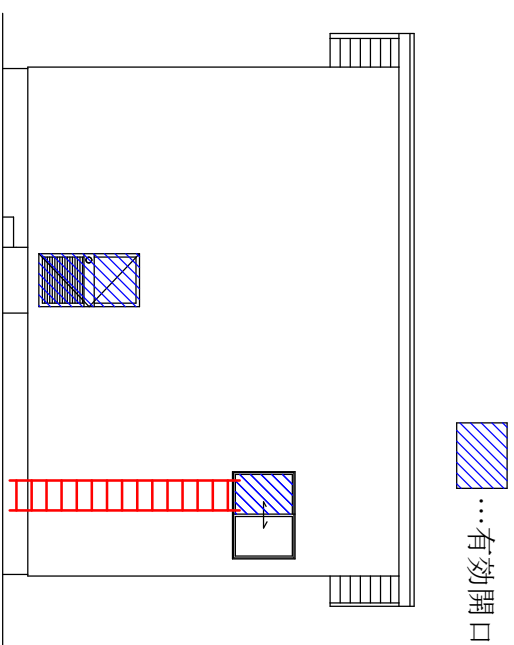
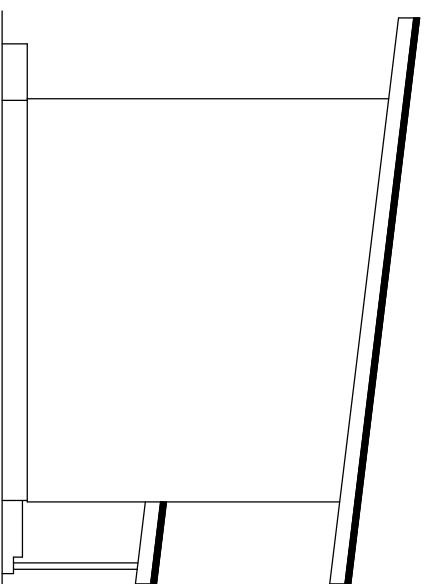
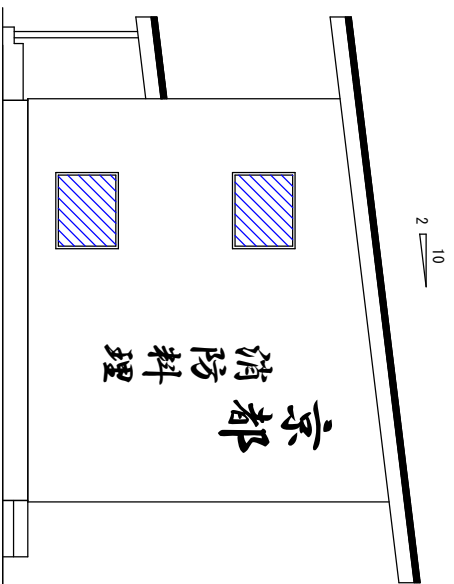
2 F...AW1 1.4 × 1.2 = 1.68 (透明板ガラス5mm)

AW2 0.9 × 1.2 = 1.08 (透明板ガラス5mm)

80.8/30 = 2.7 ≤ 2.76

縮尺 1/100  
単位 mm

# 京都消防料理 立面图



縮尺 1/150

## 防火対象物使用（変更）届出書 記入要領

※ 届出書には、各種図面の添付が必要です。ご準備ください。

※ 不明な箇所は、消防署に届け出される際、窓口で確認のうえ記入していただいても構いません。

番号	項目	確認事項
①	宛先	建物を所轄する消防署長宛てとします。 (例：亀岡市内の場合は「亀岡消防署長」宛て、南丹市及び京丹波町内の場合は「園部消防署長」宛てになります。)
②	年月日	届出書の提出年月日を記入します。 ※使用を開始する10日前までに提出する必要があります。
③	届出者の住所・氏名	1 届出を行う建物の管理権原者の住所及び氏名を記入します。(管理権原者：所有者・管理者・占有者のうち、建物に関する権限を有するもの。) 2 法人の場合は、法人登記されている所在地、名称及び代表者の職・氏名を記入します。 3 個人企業の場合は、代表者個人の住所及び氏名を記入します。
④	使用・変更	「使用」又は「変更」のうち、該当しない方を二重線で消します。 例：「使用 <del>変更</del> 」 使用届出書の場合⇒第1項□に☑ 変更届出書の場合⇒第2項□に☑
⑤	防火対象物所在地・名称	当該建物の所在地及び名称を記入します。
⑥	防火対象物用途	消防法施行令別表第1に掲げる用途区分に従い記入します。 例：(3)項ロ 飲食店、(12)項イ 工場、(15)項 事務所、(16)項イ 複合用途(飲食店、美容室)
⑦	防火対象物構造及び規模	確認申請等を参考に構造及び規模を記載します。 複数棟ある場合は、代表棟の情報を記載します。
⑧	防火管理者の職及び氏名	防火管理者となる者の氏名を記載します。 防火管理者を選任する必要がない、規模の建物については空欄となります。
⑨	公開時間又は従業時間	平常時の営業時間等を記載します。
⑩	全従業者数	平常時の従業員数を記載します。 例：平常時5名、繁忙期10名の場合⇒5名と記載(パート等含む。)
⑪	他の法令による使用に関する許認可の有無及び内容	他法令による許認可がある場合は、記載します。 例：有 旅館業法に関する許可

⑫	棟の名称	棟の名称を記載します。本館、別館等、複数棟ある場合は、棟ごとに棟別概要を作成します。
⑬	用途	対象棟の用途を消防法施行令別表第1に掲げる用途区分に従い記入します。
⑭	建物の構造	対象棟の構造を記載します。
⑮	建築確認年月日 建築確認番号	確認申請を参考に記載します。確認申請がない場合、空欄となります。
⑯	床面積の合計	対象棟の床面積の合計を記載します。
⑰	階名 床面積 収容人員	対象棟の階ごとの情報を記載します。 収容人員については、算定方法が用途によって分かれていますので、不明な場合は管轄する消防署に確認ください。
⑱	危険物、指定可燃物 又は核燃料物質等の 品名、数量及び倍数	対象棟内で使用等する場合、記載します。 数量等によっては、別途届出等が必要となります。
⑲	消防用設備等の概要	対象棟に設置している消防用設備等を記載します。 例：消火設備 消火器、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備等 警報設備 自動火災報知設備、非常警報設備等 避難設備 避難器具、誘導灯等 消火活動上必要な施設 排煙設備、連結送水管、非常コンセント設備等 特殊消防用設備等の概要 大臣認定（管内において該当なし）
⑳	添付図面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付近見取図 該当建物が分かるように、方角、付近の目標物等が記載されたものとしてください。</li> <li>・平面図 床面積等が分かるよう、寸法、縮尺を記載してください。また、内部のレイアウト・消防用設備等の配置についても記載し、設置されている消防用設備等の操作障害が無い等も図面から分かるものとしてください。</li> <li>・立面図 立面図が無い場合、建物4方向の写真を立面図の代替として用意してください。</li> </ul> <p>※ 必要に応じて、無窓階の判定、周囲の配置状況等の記載をお願いする場合があります。</p>